

## 竹林化学工業株式会社

## 安全データシート

作成: 2019年05月16日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : Pトップ グリーン  
 会社名 : 竹林化学工業株式会社  
 住所 : 大阪府東大阪市洪川町3丁目1番43号  
 担当部門 : 品質管理部(担当者 大江吉郎)  
 電話番号 : 06-6721-6165  
 FAX番号 : 06-6720-7308  
 緊急連絡先 : 06-6721-6165  
 奨励用途と使用上の制限 : 工業用  
 整理番号 :

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 区分2  
 水性環境有害性(長期間) : 区分2

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : 水性生物に毒性  
 長期継続的影響により水性生物に毒性

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量(%) :

① アンモニア	<1.0
② 3-(3,4ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素	0.2
③ 鉱油	<1.0
④ 酸化亜鉛	<1.0
⑤ C.I. ピグメントブルー 15	<1.0
⑥ C.I. ピグメントイエロー 42	<5.0
⑦ 酸化チタン(IV)	<1.0

官報公示整理番号(化審法) :

①	1-391
②	—
③	—
④	1-561
⑤	5-3299
⑥	—
⑦	1-558

官報公示整理番号(安衛法) : ①~⑦既存

CAS番号 : ① 7664-41-7

## 竹林化学工業株式会社

- ② 330-54-1
- ③ 非公開/不明
- ④ 1314-13-2
- ⑤ 147-14-8
- ⑥ 51274-00-1
- ⑦ 13463-67-7

注記: これらの数値は製品規格値ではありません。

労働安全衛生法・化学物質管理促進(PRTR)法該当成分については、「15. 適用法令」を参照下さい。

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸し易い姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合 : 付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。  
溶剤、シンナーを使用してはならない。  
多量の水と石鹼で洗うこと。  
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときは医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて安易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 嘔吐物を飲み込ませてはならない。  
医師の指示がない場合は、吐かせてはならない。  
負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。  
適切な換気を確保する。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤  
適切な消化剤 : この製品自体は燃焼しない。
- 消火を行う者への勧告  
特有の消火方法 : 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業をする際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。  
周辺を立入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- 環境に対する注意事項 : 河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理すること。
- 二次災害の防止策 : 漏出物を回収すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い  
安全取扱い注意事項 : 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

## 竹林化学工業株式会社

## 配合禁忌等、安全な保管条件

- 適切な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
避けるべき保管条件 : 日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置  
管理指標

- 許容濃度 : (酸化亜鉛)  
日本産衛学会(1969)検討中(ヒューム)  
(酸化チタン(IV))  
日本産衛学会(2013)0.3mg-ナノ粒子/m<sup>3</sup>  
(アンモニア)  
日本産衛学会(1979)25ppm; 17mg/m<sup>3</sup>  
(酸化亜鉛)  
ACGIH(2001)TWA; 2mg/m<sup>3</sup>(R)  
STEL; 10mg/m<sup>3</sup>(R)(金属ヒューム熱)  
(酸化チタン(IV))  
ACGIH(1992)TWA; 10mg/m<sup>3</sup>(下気道刺激)  
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)  
ACGIH(1974)TWA; 10mg/m<sup>3</sup>(上気道刺激)  
(アンモニア)  
ACGIH(1970)TWA: 25ppm;  
STEL; 35ppm(眼障害、上気道刺激)

## ばく露防止

## 保護具

- 呼吸用保護具 : 呼吸用保護具を着用すること。  
手の保護具 : 保護手袋を着用する。  
眼の保護具 : 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

## 物理的状態

- 形状 : 液体  
色 : 緑色  
pH : 9.0-10.0  
比重/密度 : 1.1-1.3g/cm<sup>3</sup>

## 10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 安定である

## 11. 有害性情報

## 毒性学的影響に関する情報

- 急性毒性 (経口) : (酸化チタン(IV))  
rat LD50 > 5000mg/kg (SIDS, 2015)  
(C.I. ピグメントブルー 15)  
rat LD50 > 1000mg/kg (SIDS, 2002)  
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)  
male rat LD50 = 4990mg/kg (農薬登録申請資料, 1996)

## 竹林化学工業株式会社

急性毒性 (経皮) : (酸化チタン(IV))  
hamster LD50>10000mg/kg(HSDB, Access on May 2016)

急性毒性 (吸入) : (酸化チタン(IV))  
dust:rat LC50>5.09mg/L(SIDS, 2015)  
(アンモニア)  
gas:rat LC50=7679ppm/4hr(EHC 54, 1986)

## 局所効果

皮膚腐食性・刺激性 : (酸化亜鉛)  
ラビット no dermal reactions(EU-RAR, 2004)  
(アンモニア)  
重度の壊死(DFGOT vol, 6, 1994)

## 眼に対する重篤な損傷・刺激性

: (酸化亜鉛)  
ラビット no/slight irritant (EU-RAR, 2004)  
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)  
ラビット 4日目までに回復(農薬登録申請資料, 1996)  
(アンモニア)  
重度の壊死(DFGOT vol, 6, 1994)

## 感作性

呼吸器感作性 : (アンモニア)  
cat, 1;ATSDR, 2004

## 発がん性

: (酸化チタン(IV))  
cat. 2;IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al)  
(酸化チタン(IV))  
IARC-Gr. 2B:ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)  
ACGIH-A4(1974):ヒト発がん性因子として分類できない  
(酸化チタン(IV))  
ACGIH-A4(1992):ヒト発がん性因子として分類できない  
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)  
EU-発がん性カテゴリ2;ヒトに対する発がん性が疑われる物質

## 生殖毒性

: (酸化亜鉛)  
cat, 2;rat;EU-RAR, 2004

## 短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

## 特定標的臓器毒性

## 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)] : (3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)  
気道刺激性

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

## 水性毒性

: 水性生物に毒性  
長期継続的影響により水性生物に毒性

## 水性毒性(急性)成分データ

: (酸化亜鉛)  
甲殻類(オオミジンコ)LC50=0.098mg-Zn/L48hr(NITE初期リスク評価書, 2008)  
(酸化チタン(IV))  
甲殻類(オオミジンコ)EL50>100mg/L/48hr(SIDS, 2015)  
(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)  
藻類(緑藻)EbC50=0.013mg/L/72hr(農薬申請, 2004)

## 竹林化学工業株式会社

	(アンモニア)
	魚類(カラフトマス)LC50=0.083mg-NH <sub>3</sub> /L/96hr(EHC54, 1986)
水性毒性(長期間)成分データ	: (酸化亜鉛)
	藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)NOEC=0.024mg-Zn/L/72hr(0.0299 mg-ZnO/L/72hr) (EU-RAR, 2010)
水溶解度	: (酸化亜鉛)
	溶けない(ICSC, 2004)
	(酸化チタン(IV))
	溶けない(ICSC, 2002)
	(C.I.ピグメントブルー 15)
	溶けない(ICSC, 2006)
	(アンモニア)
	54g/100ml(20°C) (ICSC, 2013)
残留性・分解性	: (3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
	BODによる分解度: 0% (既存点検)
生体蓄積性	: (酸化亜鉛)
	BCF=217(Check & Review, Japan)
	(C.I.ピグメントブルー 15)
	log Pow=6.6(calc.) (ICSC.2006)
	(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)
	BCF=14(Check & Review, Japan)
その他情報	: 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対策すること。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法	: 環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
----------	--

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類  
国連番号に該当しない  
環境有害性

MARPOL条約附属書Ⅲ-個品有害物質による汚染防止  
海洋汚染物質(該当/非該当)

: 該当

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物 : C.I.ピグメントイエロー 42

名称通知危険/有害物 : アンモニア;酸化亜鉛;酸化チタン(IV);C.I.ピグメントブルー 15;C.I.ピグメントイエロー 42

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

悪臭防止法 : アンモニア

大気汚染防止法

有害大気汚染物質 : 酸化亜鉛;C.I.ピグメントブルー 15

竹林化学工業株式会社

特定物質 : アンモニア  
水質汚濁防止法  
有害物質 : アンモニア  
指定物質 : 酸化亜鉛;C.I.ピグメントイエロー 42;C.I.ピグメントブルー 15  
1日当たり平均的排水量50m<sup>3</sup>以上の特定事業場に適用される排水基準生活環境項目  
: 鉱油

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed. , 2013)  
, UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit, 2017 UN  
classification, labelling and packaging of substances and mixtures(table3-1 ENCO6182012)  
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)  
2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs. Iarc. Fr/ENG/Classification/index. Php>  
JIS Z 7253(2012年)  
JIS Z 7253(2014年)  
2018 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
Hazard Communication Standard-2012(29 CFR 1910. 1200)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づき作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご使用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算出根拠は、現時点における日本公表データ及び一般社団法人日本塗料工業会自主基準です。

記載内容の問合せ先

会社 : 竹林化学工業株式会社  
担当部門 : 品質管理部(担当者 大江吉郎)